

「ウシ繁殖超音波画像診断セミナー九州沖縄ブロック研修会」を 開催しました

令和元年12月23日
(独)家畜改良センター
宮崎牧場・熊本牧場

令和元年12月10～11日に家畜改良センター宮崎牧場において、標記研修会を熊本牧場との共催で行いました。

研修会には九州各県及び宮城県より、開業獣医師、県獣医師、人工授精師等10名のご参加があり、講師には宮崎大学農学部獣医学科産業動物臨床繁殖学研究室の大澤健司教授をお招きし、1日目に講義、2日目に実技講習を行いました。

1日目の講義では、超音波検査の基本手技と早期妊娠診断及び胎子性判別について、写真や動画を用いて分かりやすく説明していただき、講義後には受講者から様々な質問があり、大澤先生より貴重なアドバイスをいただいたところです。また、2日目の実技では、胎齢28日から85日までの妊娠牛17頭及と空胎牛（発情牛）1頭を対象とし、後援となる株式会社メディカル・タスクフォース及び本田電子株式会社の超音波画像診断装置を用いて早期妊娠診断及び胎子性判別を行いました。

研修終了後に回収した受講者アンケートでは、「座学も実習も非常にわかりやすく充実していた」、「様々な胎齢の実習牛が用意されていた」、「今後の診療に役立てたい」等の声が多数寄せられ、受講者の皆様から満足の評価をいただいたとともに、本研修会が情報交換の場として有効に活用されたようでした。

今回、研修を受講された皆様が、今後も超音波画像診断装置による性判別技術等を活用され、各地域における牛の生産性の向上に貢献されることを期待しております。



1日目：講義



2日目：実技